

スポーツカムシャフト 取扱説明書

製品番号 01-08-0056

適応車種	CBR250R	(MC41-1000001 ~ 1399999) (MC41-1400001 ~)
	CBR250L	(MD38-1000001 ~) (MD44-1000001 ~)
	CRF250 RALLY	(MD44-1000001 ~)
	レブル 250	(MC49-1000001 ~ 1399999)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

空燃比についてのご注意

スポーツカムシャフトとノーマルマフラー以外を装着した場合、空燃比が適正値にならず、エンジン破損の原因になる可能性があります。

必ず弊社製 FI コン 2 を同時装着して下さい。

車両により、FI コン 2 の品番が異なりますので、車種、フレーム番号をご確認の上、ご購入下さい。

※レブル 250 は FI コン 2 の設定が御座いません。ノーマルマフラーでご使用下さい。

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

～特 徴～

○ノーマルエンジンに取り付けるだけで高速域の出力がアップします。

また、弊社製マフラーを取り付ける事により更なる出力アップが可能です。

⚠ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■作業を行う際は、その作業に適した工具を使用して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)

■点検、整備は、定期的に行って下さい。(点検、整備を怠るとエンジン破損の原因につながります。)

■点検、整備を行った際、損傷部品があれば、必ず損傷部品の交換をして下さい。(損傷部品の使用を続けると、エンジン破損の原因につながります。)

⚠ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)

■エンジンを運転する場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では行わないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)

■作業を行う際は、エンジンを安定させ、安全に作業を行って下さい。(不安定な状態での作業は、エンジン等が倒れてケガをする恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

製品内容



番号	部 品 名	個数
1	エキゾーストカムシャフト COMP.	1
2	インテークカムシャフト COMP.	1

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

●水平な場所で、車両をしっかりと安定させエンジン脱着作業を行います。

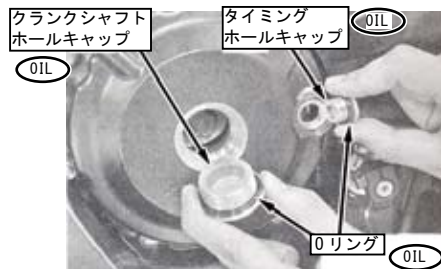
※レブル 250 の場合は、エンジン脱着作業は必要ありません。搭載状態で作業を行って下さい。

○純正サービスマニュアルを参照し、フューエルタンクを取り外します。

○タイミングホールキャップ、クランクシャフトホールキャップを取り外します。

専用工具：タイミングキャップレンチ

07709-0010001

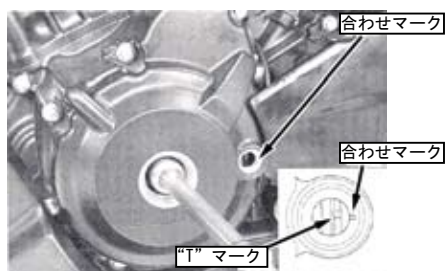


○ホースの接続を外しシリンダーヘッドカバーを取り外します。

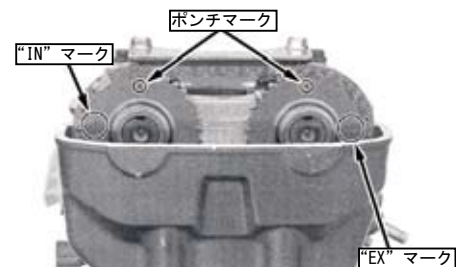
シリンダーヘッドカバーボルト / ラバーシール



○クランクシャフトを反時計方向に回転させ、フライホイールの“T”マークをL. クランクケースカバーの合わせマークに合わせます。



○カムスプロケット外側の合わせマーク（“IN”マーク、“EX”マーク）がシリンダーヘッドの上面に合っている事を確認します。



○カムチェーンテンショナーリフタープラグ、Oリングを取り外します。



○テンショナーstopperを使用して、カムチェーンテンショナーシャフトを時計方向いっぱいまで回転させて固定する。



○ボルトを外し、カムチェーンガイドBを取り外します。

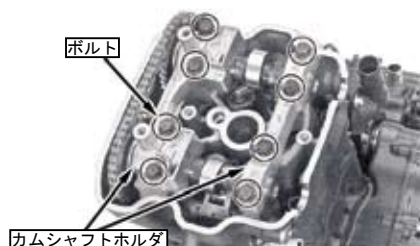
※ボルトをクランクケース内に落さないように注意します。

カムチェーンガイドB

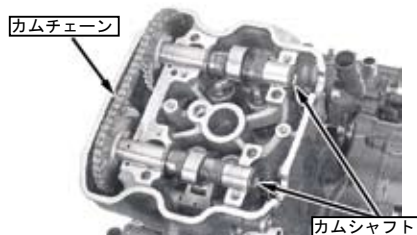


○ボルトを外し、カムシャフトホルダを取り外します。

※カムシャフトホルダの損傷を防ぐため、ボルトは外側から内側へ2～3回に分けて緩めて取り外します。

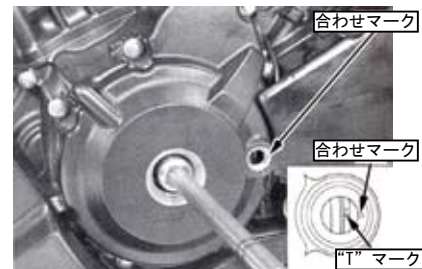


○カムチェーンをカムスプロケットから外しながらカムシャフトを取り外します。



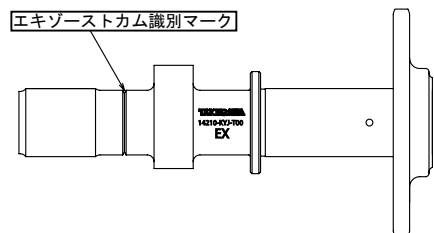
○クランクシャフトを反時計方向に回転させ、フライホイールの“T”マークをL. クランクケースカバーの合わせマークに合わせます。

⚠ 注意：クランクシャフトを回転させる際に、カムチェーンとタイミングスプロケットが引っかからない様に注意する事。



○カムシャフトには識別マークが記されています。

エキゾーストカム識別マーク

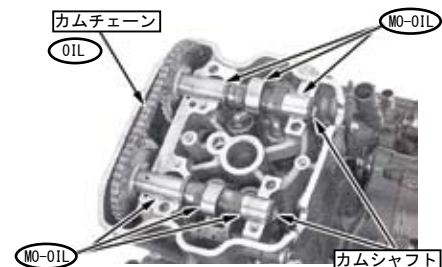


○カムシャフトのカム山とジャーナル部にモリブデン溶液を塗布します。

カムチェーン全周にエンジンオイルを塗布します。

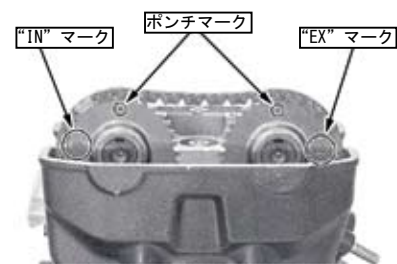
カムチェーンをカムスプロケットに取り付けながら、カムシャフトをシリンダーヘッドに取り付けます。

⚠ 注意：カムシャフトはカム山を上に向けて取り付ける事。



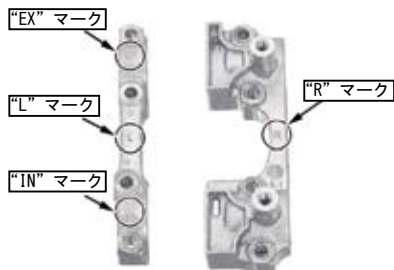
○カムスプロケット外側の合わせマーク（“IN”マーク、“EX”マーク）をシリンダーヘッドの上面に合わせます。

⚠ 注意：カムスプロケットのボンチマークが上側にある事を確認する事。



○カムシャフトホルダーには識別マークが記されています。
 “R” マーク：R. カムシャフトホルダー
 “L” マーク：L. カムシャフトホルダー
 “IN” マーク：インテーク側
 “EX” マーク：エキゾースト側
 カムシャフトホルダーを元の位置に取り付けます。

⚠ 注意：カムシャフトホルダーのノックピンをシリンダーヘッドの穴部に合わせる事。



○カムシャフトホルダーマウントボルトのネジ部、座面にエンジンオイルを塗布します。
 カムシャフトホルダーマウントボルトをシリンダーヘッドに取り付け、手で締め込みます。
 シリンダーヘッドに軽く突き当たるまで、カムシャフトホルダーマウントボルトを対角に均等に締め込みます。
 カムシャフトホルダーマウントボルトを規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
 カムシャフトホルダーマウントボルト
 トルク：12N・m (1.2kgf・m)

⚠ 注意：カムシャフトホルダーの損傷を防ぐ為、ボルトは内側から外側へ2～3回に分けて締め付ける事。

カムシャフトホルダーマウントボルト



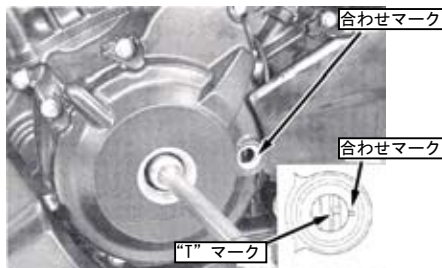
○カムチェーンガイドB、ボルトを取り付け、ボルトを確実に締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
 ボルト
 トルク：12N・m (1.2kgf・m)

⚠ 注意：ボルトをクランクケース内に落とさない様に注意する事。

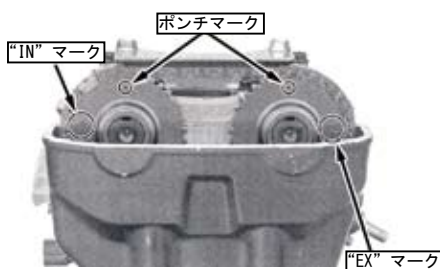


○クランクシャフトを反時計方向に回転させ、フライホイールの“T”マークをL. クランクケースカバーの合わせマークに合わせます。



○カムプロケット外側の合わせマーク（“IN” “EX” マーク）がシリンダーヘッドの上面に合っている事を確認します。

⚠ 注意：合わせマーク（“IN” “EX” マーク）が内側を向いている場合は、クランクシャフトを反時計方向に1回転（360°）させ、合わせマークをシリンダーヘッドの上面に合わせる。



※フライホイールの“T”マークがL. クランクケースカバーの合わせマークに合っているか確認します。

○ロッカーアームとシムの間にシクネスゲージを入れ、バルブクリアランスを測定します。

バルブクリアランス

IN: 0.16 ± 0.03mm

EX: 0.27 ± 0.03mm



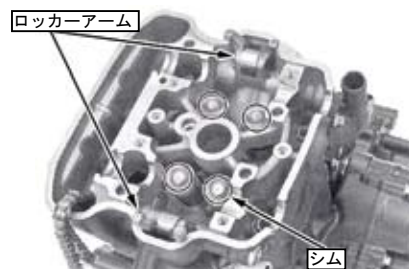
★バルブクリアランスの調整が必要な場合のみ

◎以下の要領で調整を行います。

◎調整

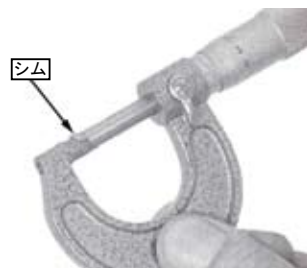
カムシャフトを取り外します。
 ロッカーアームを持ち上げ、シムを取り外します。

⚠ 注意：シムをクランクケース内に落とさない様に注意する事。
 ⚠ 注意：シムは元の位置に取り付けられる様に取り付け位置別に区別して保管する事。
 ⚠ 注意：シムが外れにくい場合は、ピンセット又は磁石を使用して取り外す。
 ⚠ 注意：バルブクリアランスが全く無い場合は、数サイズ小さいシムを取り付け再測定する。



◎シムに付着したオイルを拭き取り、マイクロメーターで取り付けられていたシムの厚さを測定し、記録します。

⚠ 注意：新しいシム、取り外したシムの厚さはマイクロメーターを使用して正確に測定し、確認する事。
 ⚠ 注意：必要なシムの厚さが2.900mm以上の場合、バルブシートを点検する。カーボンが堆積している場合は除去し、バルブシートを修正する。
 ⚠ 注意：シムは1.200mmから2.900mmまで0.025mm間隔で69個設定されている。



◎以下の計算式を使用して新しいシムの厚さを計算します。

新しいシムの求め方

計算式：A = (B - C) + D

A: 求めるシムの厚さ

B: 測定したバルブクリアランス

C: 規定のバルブクリアランス

D: 取り外したシムの厚さ

シム計算例

B: 記録したバルブクリアランス：0.15mm

D: 取り外したシムの厚さ：1.800mm

C: 規定のバルブクリアランス：0.10mm (IN)

A = (0.15 - 0.10) + 1.800 = 1.850mm

新しいシムの厚さ = 1.850mm



◎選択したシムをバルブスプリングリテーナーに取り付けます。

ホンダ純正シム一覧表

[illegible]